

令和6年度 北海道札幌真栄高等学校年度末自己評価(教職員)

(4:十分 3:概ね十分 2:やや不十分 1:まったく不十分)

No.	評価項目	平均値	昨年度との比較
1	生徒・学校・地域社会の実態に即した教育目標、重点目標、経営方針が設定されている。	3.19	0.06
2	学校だより等の定期的な発行やホームページのタイムリーな更新など積極的に情報発信に努めている。	2.86	▲ 0.32
3	学校改善状況及び学校評価の適切な公表と活用を行っている。	3.00	▲ 0.03
4	教育活動の改善・充実を図るとともに、説明責任を果たしている。	3.24	0.21
5	PTA等の関係組織と連携を図り、協働的に活動している。	3.49	0.36
6	校務運営委員会が機能し、各分掌等の協働体制の確立が図られている。	3.35	0.20
7	教職員の相互理解が深まり、望ましい人間関係が醸成されている。	2.86	0.14
8	特別支援教育の推進を図るために、特別支援コーディネーターを中心に組織的に情報の共有が行われている。	3.24	0.24
9	学校課題等に係る校内研修会等の充実を図っている。	3.14	0.35
10	教育公務員としての倫理観・使命感の向上を図るとともに、服務規律保持を意識し、自己管理を含め適切な管理ができています。	3.46	0.00
11	働き方改革を意識し、時間外勤務の縮減と自己の健康管理に努めている。	2.97	0.37
12	学習指導要領の趣旨やねらいを踏まえて、新しい時代に対応できる教育課程の編成を行っている。	2.89	▲ 0.05
13	主体的・対話的な深い学びにより、生徒の意欲を喚起する授業の工夫・改善を行っている。	2.89	0.23
14	基礎・基本定着に向けた授業の改善を行っている。	3.22	0.19
15	家庭学習の定着に向けた取組を行っている。	2.78	0.21
16	生徒の規範意識を醸成する指導を行っている。	2.89	▲ 0.11
17	さまざまな問題に対して教職員の協働体制のもとで指導している。	3.05	0.02
18	生徒の悩み相談について、教職員間の連携や情報交換を適切に行っている。	3.19	0.10
19	生徒面談を活用するとともに、保護者との連携を図りながら組織として誠意ある対応を行っている。	3.24	0.12
20	いじめ防止のために生徒の状況を把握し、未然防止及び早期発見に努めている。	3.30	0.09
21	リーダーの養成及び自主性を伸ばす効果的な活動を行っている。	2.78	0.06
22	進路実現に向けた意識の醸成の育成を行っている。	2.84	0.02
23	進路実現に向け共通理解のもと、具体的・計画的な指導を行っている。	2.76	▲ 0.15
24	生徒・保護者への適切な情報提供と、保護者や地域社会への説明責任を果たしている。	3.11	0.08
25	社会人として必要とされる能力の育成を行っている。	2.81	0.02
26	健康診断及び調査等による実態把握に基づき、担任と養護教諭との連携を密にした情報交換や適切な指導を行っている。	3.19	▲ 0.08
27	交通安全や薬物乱用防止、性教育等、今日的な健康安全指導等をおして意識の醸成を図っている。	3.38	0.17
28	防災意識を高め定期的な安全点検を行うとともに、危機対応能力を向上させている。	3.30	0.15
29	教育活動に支障がないよう、施設・設備の充実が図られている。	2.51	▲ 0.37
30	安全点検を活用し、修繕や補修箇所の連絡体制が整備されている。	3.19	▲ 0.14
31	校務支援システムの円滑な運用を図り、校内の情報管理の徹底に努めている。	3.22	0.11
32	図書や視聴覚教材等を充実させるとともに、それらを教育活動に生かしている。	2.97	0.03
		3.07	0.07